

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる健康な笑顔あふれる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	各会員団体及び地域住民が連携して地域課題の解決を図る協働体制を構築する。		
	事業名	組織づくり事業	決算額	326,123円
②	視点	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛意を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	事業名	明治維新150周年記念事業	決算額	213,033円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	116,600円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①部会の再編成を行い、部会開催の定例化により、各会員団体間において目標等が共有できる部会運営協働態勢が整った。 また、新たに部会内において地域づくり計画策定委員会等実行委員会が設置されるなど地域課題の解決に向けた人的態勢が整った。 今後については各会員団体に所属する志縁者に加えて、地縁者(一般住民)の部会への参加を促進し、協働態勢の構築、醸成を目指す。	○
②明治維新に関心のある人の掘り起しができ、参加住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。 今後については、講演会開催やコラム掲載は引き続き実施し、加えて維新探訪ツアー等を企画するなど、地区住民の関心を更に高め、「平成29年明治維新150周年記念イベント開催」に向けて参加者の増大を図り、住民同士の絆の輪を広げる事業とする。	○
③山口祇園祭における御神輿の担ぎ手の募集を行い、参加者を対象にサラシの巻き方教室を開催したところ、昨年と比較して参加者が20名(昨年比140%)増加した。 また、山口七夕ちょうちんまつりにおいて、近隣住民が商店街等主催のミニちょうちんツリーイベントに初めて参加するなど地元商店街との交流に努めた。 今後については、子ども神輿の参加等、子どもからお年寄りまで、地域ぐるみで楽しめる事業を企画する。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

交付金の活用によって、地域課題の解決に向けた住民の意識が高まるなど地域づくりの環境が整いつつある。
 今後についても、引き続き地域住民が自ら、新たな地域課題を掘り起し(P)、地域住民が主体となって行動し(D)、解決(S)する仕組みを構築するために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,473,603円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:1名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 新会計システム導入により、事務処理の効率化を図った。 (今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。

(2) 地域振興

事業名	組織づくり事業
事業費	326,123円
事業概要	(実施内容) 地域課題の解決に向けて、人的協働体制の構築と醸成を目指した。 (実施時期) 通年 (参加人数) 109人 (成果) 部会の再編成を行い、部会開催を定例化した。また、新たに部会内において地域づくり計画策定委員会等実行委員会が設置されるなど地域課題の解決に向けた人的態勢が整った。 (評価) 各会員団体間において目標等が共有できる部会運営協働体制が整った。 (今後に向けて) 各会員団体に所属する志縁者に加えて、地縁者(一般住民)の部会運営への参加を促進し、部会運営態勢の強化・拡大を目指す。

事業名	広報事業
事業費	1,367,621円
事業概要	(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営、クリスマスツリー設営 (実施時期) 通年 (参加人数) 15人 (成果) 広報誌配布12回、ウェブサイト更新 QRコードの作成により、携帯やスマホから容易にアクセスできるようになった。 (評価) 広報誌を毎月発行し、HPを適宜更新するなど周知が図れた。 広報誌を読んでもらうように、カラー版を使用し目立つようにした。 (今後に向けて) 適宜、号外を出すなどタイムリーな広報に努める。

事業名	住民アンケート実施事業
事業費	75,600円
	(実施内容) 設問内容決定、アンケート送・返信用の封筒作製

事業概要

(実施時期) 平成26年10月～平成27年3月

(参加人数) 33人

(成果) 地域づくり計画策定委員会を立ち上げ、アンケート設問内容等調査票を作成した

(評価) 地域づくり計画策定委員会において、全体会議を毎月開催するとともに、3部会(アンケート部会、住民座談会部会、現行事業検証・見直し部会)を立ち上げ、アンケート部会を開催し、住民アンケート調査の実施に向けた準備を了した。

(今後に向けて) 平成27年5月に、住民アンケート調査の実施に加えて、より広く地域住民ニーズを把握するため、平成27年4月に住民座談会(ワークショップ)を開催する。以って第2次白石地区地域づくり5カ年計画の礎とする。

事業名	JR山口線全線開通イベント事業
事業費	335,480円
事業概要	<p>(実施内容) SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。</p> <p>(実施時期) 平成26年8月、11月、12月、3月</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) 多数の地域住民の協力で盛大なイベントとなった。</p> <p>(評価) 地域住民同士のコミュニケーションの場となった。</p> <p>(今後に向けて) 山口市の観光の目玉の一つであるSL山口号を応援するとともに、イベントを通じて地域住民同士のコミュニケーションを図る。</p>

事業名	白石地区町内親睦大運動会運営事業(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校グラウンド</p> <p>(実施時期) 平成26年5月</p> <p>(参加人数) 1,200人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりが推進された。</p> <p>(評価) 今年度は、第50回記念大会であったため、既存競技のアレンジや、新競技(仮装等)の実施をし、例年以上に盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) 協議種目、町内対抗に参加できない地区住民の参加方法等について検討し、よりよい大会となるよう検討を進める。</p>

事業名	白石フェスティバル運営事業(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントとして開催。</p> <p>(実施時期) 平成26年11月</p> <p>(参加人数) 約2,100人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦、白石地域交流センターで活動されている団体の紹介及び地域団体間の連携強化が図られた。 また、多くの地区住民が運営スタッフとして参加し、住民主体のイベント運営、地域活動参加のきっかけづくりとなった。</p> <p>(評価) 晴天に恵まれ、また、西門前商店街のえびす祭りと同日開催したことによる相乗効果もあり、来場者が昨年度より増大した。実行委員会を中心に、フェスティバルを盛り上げるための創意工夫について話し合いを重ねた結果、地域の連帯感が生まれた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も開催日時を西門前商店街のえびす祭りに合わせて開催(11/15)し、お互いの祭りの相乗効果が出るよう工夫して行きたい。また、中・高生もスタッフとして参加できるようなイベントとする。</p>

事業名	町内会親睦支援事業
事業費	150,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①荒高もりさま祭り②福部童子祭③西惣小さな夏まつり④今道大附等6町内合同サマーフェスティバル開催。⑤ヴェルデ白石納涼夏祭り</p> <p>(実施時期) 平成26年7月、8月、9月</p> <p>(参加人数) 約1,000人</p>

(成果) 地域住民同士のコミュニケーションの場づくりができた。

(評価) 地域の子どもからお年寄りまで多数参加され、世代を超えた人的交流が図れた。

(今後に向けて) 参加呼び掛け等、事前の広報活動に努め、参加者を増やす。

事業名	西京老人だいがく開催事業
事業費	44,384円
事業概要	<p>(実施内容) 高齢者の健康増進、生きがいづくりに役立つ情報の提供する場づくりを実施</p> <p>(実施時期) 平成26年6月</p> <p>(参加人数) 61人</p> <p>(成果) 認知症の予防と対策について寸劇を鑑賞して学んだ。食推の協力により減塩料理を会食した。</p> <p>(評価) 寸劇により認知症についてわかり易く学べたとともに、減塩料理の認知度も高まり、高齢者の健康増進、生きがいづくりに役立った。参加者が昨年に比べ11名増加した。</p> <p>(今後に向けて) お年寄りの関心ごと、心配ごと等をテーマにし、参加者をさらに10名増やしたい。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	116,600円
事業概要	<p>(実施内容) 祇園まつりの御神輿の担ぎ手の募集を行い、参加者を対象にサランの巻き方教室を開催した。山口七夕ちょうちんまつりにおいて、地元商店街が企画実施したミニツリーに提灯・短冊取り付け、点灯、撤去作業に参加した。</p> <p>(実施時期) 平成26年7月、8月</p> <p>(参加人数) 100人</p> <p>(成果) 御神輿の担ぎ手が昨年と比較して20名(昨年比140%)増加した。山口七夕ちょうちんまつりにおいて、近隣住民が商店街等主催のミニちょうちんツリーイベントに初めて参加するなど地元商店街との交流ができた。</p> <p>(評価) 今回初めて御神輿の担ぎ手を対象に直会(反省会)を開催したところ、参加者同士の連帯感や絆が深まった。また、地元商店街と連携する関係が構築できた。</p> <p>(今後に向けて) 新たに子ども神輿を企画するなど、子どもからお年寄りまで、地域ぐるみで参加していただき、楽しんでいただける事業を企画展開する。</p>

事業名	ノルディックウォーキング講習会開催事業
事業費	104,520円
事業概要	<p>(実施内容) 講習会の開催。亀山公園→商店街→象頭山(6km)のウォーキング。</p> <p>(実施時期) 平成26年5月</p> <p>(参加人数) 25人</p> <p>(成果) 自然にふれながら楽しくウォーキングをすることにより、地区住民同士のコミュニケーション及び健康増進を図った。</p> <p>(評価) 講習会により意義の周知や、ウォーキングを通して地域内を改めて知る機会にもなった。地区住民の体力づくりを行うきっかけとなった。</p> <p>(今後に向けて) 地区住民の健康増進に繋がるよう、周知を心がけ魅力あるコースを検討して参加者を増やす。</p>

事業名	白石ウォーキングマップづくり事業
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石地区内の名所・旧跡を巡るコース等、ウォーキングマップを作成し、全戸配布した。</p> <p>(実施時期) 平成27年3月15日</p> <p>(参加人数) 6人</p>

(成果) 白石地区内の名所・旧跡を調査し、他地区のウォーキングマップを資料として集め、ルートを選考、試歩を繰り返し作成したことにより、無理なく楽しんでウォーキングできるマップを作成することができた。地区内の名所等の認知度を高めることができた。

(評価) 地区住民の健康増進につながるよう、全戸配布およびHPでも検索できるようにし周知を図った。ウォーキングを始めるきっかけを提供できた。

(今後に向けて) 単年度で終了するが、マップのPRや、活用した事業、リニューアル版の作成検討は継続して行う。

事業名	コミュニティ備品整備
事業費	2,802,822円
事業概要	<p>(実施内容) 倉庫2棟設置(白石小学校内)・折りたたみ椅子120脚・会議用机60台・デジタルカメラ 整備、宝くじステッカー206枚購入 (参加人数) -</p> <p>(成果) コミュニティ活動に使用する備品を整備し、その保管場所も確保したことにより、地域への貸出し対応も可能となり、より安全で快適に使用できる備品環境となった。</p> <p>(評価) デジタルカメラについては、地域のコミュニティ活動の記録や広報活動に活用し、地域の情報提供、発信の充実に繋がった。</p> <p>(今後に向けて) 地域づくり活動に活用する。</p>

(3) 地域福祉

事業名	減塩推進事業
事業費	58,846円
事業概要	<p>(実施内容) 減塩料理教室3回(内、男性料理教室1回)を開催し、減塩食レシピを広報誌へ掲載した。 減塩レシピ本購入 (実施時期) 平成26年4月～11月、平成27年1月、2月 (参加人数) 78人</p> <p>(成果) 塩分控えめ食生活の改善意識の高揚が図れた。</p> <p>(評価) 保健師による減塩についての講座を開催し、自宅から持ち寄ったみそ汁の塩分チェックを行うなど、減塩についての知識と意識を高めることができた。</p> <p>(今後に向けて) 子どもや子育て世代にも関心を持っていただけるような企画を検討する。</p>

事業名	ゴミ出しサポート運営事業
事業費	10,600円
事業概要	<p>(実施内容) ゴミ出しに困っている高齢者等を対象に ゴミ出しサポートを実施した。 (実施時期) 通年 (参加人数) 12人(登録サポーター)、利用回数53回</p> <p>(成果) 近隣住民で助け合ってゴミだしをしている地域が多く、小地区見守り訪問等(無料)で対応した。</p> <p>(評価) 有料でのゴミだしサポート希望者が、当初見込みより増えなかった。</p> <p>(今後に向けて) 広報誌等により地区住民にサポート内容を周知する。 ゴミ出し以外で困っていることを調査・分析し、各種困りごとに対応できる仕組みを検討する。</p>

事業名	白石地区グランドゴルフ大会開催事業
事業費	16,730円
事業概要	<p>(実施内容) グランドゴルフ大会を開催。 (実施時期) 平成26年8月 (参加人数) 28人</p> <p>(成果) 参加者同士のコミュニケーションの場となった。</p>

(評価) 台風の影響により日程が変更されたが、昨年度より参加者が9名も増え、盛り上がった。地域住民の運動に親しむきっかけづくりとなった。

(今後に向けて) さらに、参加が増えるよう競技自体および用具の貸し出しの周知を図り、地域住民の運動に親しむきっかけづくりとなるよう努める。指導者の育成、サークルの育成を図る。

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	72,792円
事業概要	(実施内容) 交通安全のため、注意喚起サインを設置(貼付)した。 (実施時期) 平成26年10月～11月 (参加人数) 5名 (成果) 交差点侵入時の一時停止を促し、自転車の飛び出しによる事故防止となった。 (評価) 同上 (今後に向けて) 適宜、巡回を行い、保全状況を確認し、交通事故防止に努める。

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	25,000円
事業概要	(実施内容) 交通安全のため既設アドバイスミラーの支柱建替修繕を行った。 (実施時期) 平成26年6月 (参加人数) - (成果) アドバイスマミラーの支柱建替修繕を1ヵ所行った。(東糸米町内会) (評価) 安全対策が講じられた。 (今後に向けて) 地域内の要望に適宜、対応する。

事業名	安全パトロール事業
事業費	19,270円
事業概要	(実施内容) 白石小・中学校生の登下校時の安全見守り、あいさつ運動を行った。 (実施時期) 通年 (参加人数) 40人 (成果) 登下校の安全確保ができた。 (評価) 学校、PTA、地域が連携することができた。 (今後に向けて) 町内会連合会と協力しボランティアをさらに募集する。 子ども会にも参加を呼びかけ、地域ぐるみで児童の様子を見守る。

事業名	危険箇所マップ作成事業
事業費	119,232円
事業概要	(実施内容) 危険箇所マップを作成し、全戸配布を行った。 (実施時期) 平成27年3月 (参加人数) 40人 (成果) 校区内小学生の事件・事故の発生件数が皆無であった。 (評価) 同上 (今後に向けて) 校区内小学生の事件・事故の発生件数0件を維持する。

事業名	自主防災モデル事業
事業費	86,175円
事業概要	(実施内容) 豪雨災害被災地視察。 荒高町内会が自主防災組織を立ち上げ、西門前・新橋町内会と合同で発災訓練を実施。 山形県白子町「つばい」の防災研修施設を視察し、次年度以降の防災訓練に活用する。 (実施時期) 平成26年5月、9月、10月、12月～平成27年2月

事業概要

(参加人数) 50人

(成果) 今年度新たに3名が防災士資格取得者となり、白石地区の防災士資格取得者は4名となった。

大規模な防災訓練を行ったことで、防災意識がさらに高まり、災害への備えとなった。

(評価) 防災訓練を行う中で住民同士の連帯感が生まれた。

(今後に向けて) 今後はこれをモデルケースとして、他の町内会へ事例紹介を行い、波及を図る。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物等整備事業)
事業費	223,000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物等の整備。 (実施時期) 平成26年5月～平成27年3月 (参加人数) 25人 (成果) 水路浚渫工事を2ヵ所行った。(上清水町内会、新天街町内会) (評価) 同上 (今後に向けて) 地域内の要望を把握し、適宜対応する。

事業名	環境美化&エコ推進事業
事業費	36,036円
事業概要	(実施内容) 白石小・中学校の児童およびPTAを対象にエコ推進教室を開催。町内会連合会、老人会と連携して清掃活動を実施。幟旗を作成し、エコ推進意識の啓発と協力を求めた。 (実施時期) 平成26年7月～12月 (参加人数) 110人 (成果) 活動を通じて、地域の環境美化とエコ推進活動の意識の高揚が図れた。 (評価) エコ推進教室は、度重なる悪天候等で実施に至らなかったが、清掃活動は多数の参加者で実施でき、白石地区の環境美化に貢献できた。 (今後に向けて) エコ推進教室は、悪天候時の代替スケジュールを検討する。清掃活動は、定期的に実施できるよう計画を考える。各団体に参加を呼びかけ、参加者の増加を図る。

事業名	白石地区一斉清掃
事業費	54,000円
事業概要	(実施内容) 地区内一斉に清掃を行う。世帯数に応じてゴミ袋を配布した。 (実施時期) 平成26年6月、11月 (参加人数) 20町内会 (成果) 今年度より開始した事業であり、各町内会総会後に実施が決定したために、今年度の事業として実施できなかった町内会もあったが、6月は8町内、11月は12町内で実施した。 (評価) 周知不足の面はあったが、地区内住民の清掃活動に関する意識の高揚が図れた (今後に向けて) 清掃活動の周知に努め、本事業を盛り上げる。隣近所の声掛け運動を展開する。

事業名	社会奉仕の日・清掃作業
事業費	10,532円
事業概要	(実施内容) 白石老人クラブが山口高校通りを中心に清掃活動を実施した。 (実施時期) 平成26年9月 (参加人数) 30人 (成果) 通学路がきれいに整備された。 (評価) 山高生や地域住民に対する環境美化意識の高揚が図れた。また、清掃活動を通じて、高齢者同士のコミュニケーションの場となった。 (今後に向けて) 誘い合わせて、より多くの高齢者に参加してもらえよう働きかけ、参加者を増やす。

(6) 地域個性創出

事業名	お宝写真展開催事業
事業費	30,705円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小PTAを中心に児童、保護者、地域住民を対象に写真教室・白石フェスティバル・大いちょうバザール時に写真展を開催。</p> <p>(実施時期) 平成26年7月、9月、11月、平成27年1月</p> <p>(参加人数) 26人</p> <p>(成果) 白石フェスティバル開催時に行ったアンケートの結果、写真展の試みに対する評価は高く、写真を見て白石地区に愛着を感じた人の割合が90%を超えた。</p> <p>(評価) 写真展における出展参加者や展示点数の増大が課題として残った。</p> <p>(今後に向けて) PTAに限らず多くの方から写真を募集する。広報誌への早めの作品募集案内、各団体への参加呼びかけ、商店街・公共施設でのPR等、写真展開催の広報活動を強化する</p>

事業名	明治維新150周年記念事業
事業費	213,033円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会開催、広報誌およびHPにコラム掲載。</p> <p>(実施時期) 平成26年6月～平成27年3月</p> <p>(参加人数) 52人(平均参加者数)</p> <p>(成果) 適宜、広報誌等による情報提供を行ったところ目標人数20人を大幅に超える参加者があった。</p> <p>(評価) 明治維新に関心のある人の掘り起しができ、参加住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。</p> <p>(今後に向けて) 講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し、加えて維新探訪ツアー等を企画するなど、地区住民の関心を更に高め、「平成29年明治維新150周年記念イベント開催」に向けて参加者の増大を図り、住民同士の絆の輪を広げる事業とする。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してく